

2017年2月27日

帯広市との『女性活躍に関する包括協定』の締結について

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」）は、「帯広市まち・ひと・しごと創生総合戦略※」に掲げられた男女共同参画社会の推進（特に「女性活躍の推進」）に関する施策を、自社の経験やノウハウを活かし、地方創生につなげるため、帯広市（市長：米沢 則寿）と『女性活躍に関する包括協定』を本日締結しましたのでお知らせします。

※帯広市は、十勝・帯広の強みや魅力を最大限に活かしつつ、安心して住み続けられる環境を確保し、地域の持続的な発展を図るため、様々な分野の課題に対し、「帯広市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しています。

1. 背景・経緯

- ・帯広市は、2010年に策定した「おびひろ男女共同参画プラン」に基づき、男女が個人としてその人権を尊重され、対等なパートナーとして仕事、家庭、地域などさまざまな分野において、責任を分かち合い、個性や能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現を目指し、施策を推進してきました。
- ・また、「帯広市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、「仕事と生活の調和の促進」を施策の柱の一つに掲げ、企業や関係団体と連携した取り組みを進めています。
- ・損保ジャパン日本興亜は、北海道内および十勝地区トップシェアの損害保険会社として、地方創生への支援を目指しています。また、ダイバーシティを企業の成長に欠かせない重要な経営戦略として位置づけ、特に「女性活躍」を推進しています。2003年に大手金融機関初の女性活躍推進専門組織「女性いきいき推進グループ（現 ダイバーシティ推進グループ）」を設置後、まずは「女性が働き続けられる会社」として制度や仕組みを整えてきました。そのノウハウを活かし、帯広市民が安心して住み続けられる環境づくりと持続的な発展に貢献するため、このたびの協定に至ったものです。
- ・なお、帯広市が損害保険会社と女性活躍に関する協定を締結するのは、今回が初めてとなります。

2. 協定の目的

帯広市と損保ジャパン日本興亜は、職業生活における女性活躍を図るための活動を協働して推進することにより、地域の持続的な発展に寄与することを目的とします。

3. 協定の主な内容

次の事項について連携し、協力します。

- (1) 職業生活における女性活躍の推進に関すること
- (2) 子育て支援の推進に関すること
- (3) ワークライフバランスの推進に関すること
- (4) おびひろ男女共同参画プランの推進に関すること
- (5) その他、協議により決定した事項

4. 今後について

損保ジャパン日本興亜は、今後も地方自治体と連携し、働く女性、働きたい女性が活躍できる地域社会を創生することに貢献していきます。

以上